

DIGITABLE 第 59 回勉強会レポート

2012年10月20日 於：森下文化センター 第四研修室



ライトニングトークでの作品発表 (KM 会員)

Digitable 基礎講座 「ピントの演出：ぼかし (レンズ)」：高木大輔講師
参加者全員による“ライトニングトーク”(持ち時間 5 分)
Photoshop 研究講座「RAW現像の基本調整」：平野正志講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

図 2012-123 アルファチャンネルをつくり、前頁と同様上下のグラデーションで塗る

Digitable 基礎講座 2012 第 6 回

ピントの演出：ぼかし (レンズ)：高木大輔講師

11月の六周年展を前に作品の仕上のヒントにもなればと…第二弾として、Photoshop CSのフィルタ効果にある「ぼかし (レンズ)」について解説する。効果的なピントの演出により、作品に一味加えられれば…という狙いである。

■ぼかし (ガウス) と ぼかし (レンズ)

CSシリーズ以前は焦点となるオブジェクトを選択してマスクをかけ、マスク以外の部分を「ぼかし (ガウス)」などの効果を適用させることで、簡易的ボケ効果作り出していたが、選択範囲との境界での不自然さが生じやすく、さまざまなテクニックでカバーすることも必要だった。CSシリーズから搭載された「ぼかし (レンズ)」では、カメラでの絞りを意識した調整方法となり、コツをつかめば簡単に比較的きれいな疑似レンズぼけ効果を作ることが出来る。高倍率ズームやキットレンズでも、高価な大口径レンズに近い効果が得られるという訳だ。

■「ぼかし (レンズ)」の調整作業の実際

一昨年の軽井沢合宿での写真。このように奥行きを持った風景写真の場合極めて効果的だ。

まずアルファチャンネルを作り、単純な上下のグラデーションで塗る。

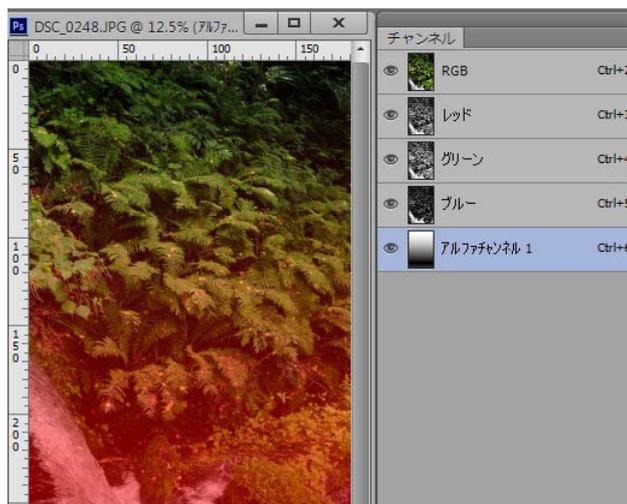
左図では「ぼかしの焦点距離」が0で、グラデーションマスクの一番濃い一番手前部分にピントがあって見える。

右図では中間濃度の112に設定、中央部にピントがあった状態。255に設定すれば、一番奥側にピントの合った状態となる。

この作例はぼかしの「半径」を50に設定、分かり易いように比較的大きな値となっているが、もちろん細かく自然に調整可能だ。

(後略)

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



アルファチャンネルをつくり、上下のグラデーションで塗る



風景の手前にピントが合っている

風景の中央にピントが合っている

参加者全員による「ライトニングトーク」

(各自持ち時間 5分)

- SY 会員：ネットワークと親和性について
- TE 会員：山谷のマンション オーケストラ 丸い三日月
- IF 会員：大山千枚田 伊勢原彼岸花 荒崎海岸 覆い焼き
- KM 会員：来春竣工のつくば美術館 土浦でのスナップ撮影
- NY 会員：三郷プリント間での撮影会
- IS 会員：片貝海岸での撮影 スカイツリー俊工撮影
- KT 会員：大い阿多での夏のハス
- MM 会員：川崎民家園 火をたいて 水溜り
- AY 会員：プリンター発色時の色の選び方 マゼンタ系、環境光
- EY 会員：ポートレートプロ☆
- ST 会員：レベル補正 RGB バランス プリンタプロファイル
- YA 会員：合宿での撮影その他…

Photoshop 研究講座 平野正志 講師

R A W現像の基本調整

◎ CS6 では両方の画像を同時に R A W現像で開く事が出来るが、CS5 の xmp ファイルを持つものはその設定で初期設定画面が変更され CS5 の基本設定画面で、初めて R A W現像されるものは CS6 の基本設定画面で表示されている。

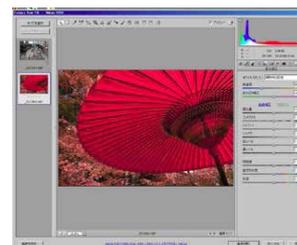
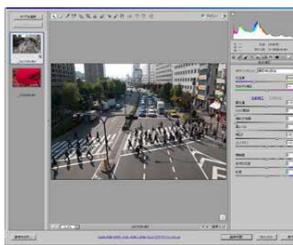
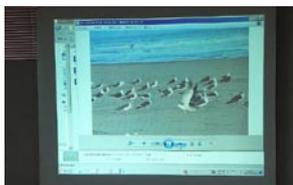
CS6 では白飛びの軽減、補助光効果が無くなりハイライト、シャドウに、明るさが白レベルに変更されたようだ。

◎ CS6 でちょうどよい程度と思われる画像を「自動処理」したものの、画像によって明るくも暗くも調整される。加えてその他、白黒レベルなども調整されるので、それはそのままにして、自動調整後に「露光量」だけをマイナス方向、またはプラス方向に調整し、明るさのみを調整すると、コントラストや黒白レベルなどはちょうどよい状態に変更されるように感じる。自動調整でだめと思わずに、一度自動調整してその後に露光量の調整を試みるのも一方法と思う。

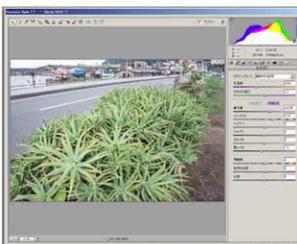
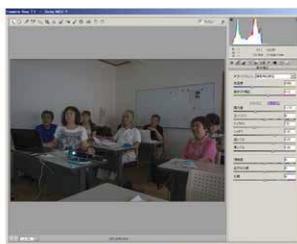
◎ RAW 現像の中のカメラキャリブレーションの中に「処理」の項目があり、ここが RAW 現像のバージョン設定になるという。cameraRAW7.1 では初期設定は 2012 (現在) となり、ここを 2010 なり 2003 に変更する事が可能、一番左にある基本調整画面が以前のバージョンの調整項目に変更される。CS6 でために 2012 処理を 2010 にすると上のヒストグラムが大きく変更されているのが分かる。初期状態で開いた状態の調整が違い、バージョンによって違い、初期状態の表示される明るさが違うことが分かる。

ちなみに 2010 バージョンのこの画像では黒つぶれがあるが、2012 バージョンでは白とびも黒つぶれの部分も改善されて全体の山も高くなっている。はじめに表示される状態からある程度の調整がされ、この画像に限って言えば最適化されているようにも見える。(後略)

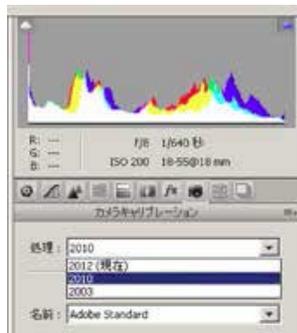
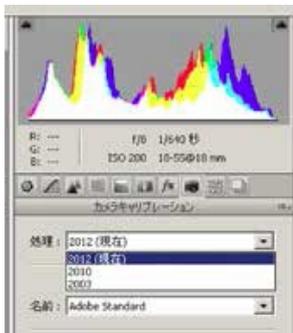
DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



CS6 では両方の画像を同時に R A W現像で開く事が出来るが、CS5 の xmp ファイルを持つものはその設定で初期設定画面が変更され CS5 の基本設定画面で表示される



CS6 でちょうどよい程度と思われる画像を「自動処理」したものの、画像によって明るくも暗くも調整される



カメラキャリブレーションの中に「処理」の項目があり、こ RAW 現像のバージョン設定になる。cameraRAW7.1 では初期設定は 2012 (現在) となり、ここを 2010 なり 2003 に変更する事が可能。

今月の 1 枚：
ポートレート撮影会のぞむご兩人